

地域懇談会実施報告書

◎自治会名 上一自治会

◎開催日 平成20年8月25日(月)

◎時間 午後6時30分～8時30分

◎開催場所 上一基幹センター

◎参加人数 16人

◎懇談内容 別添 議事録

●質問等検討課題・後日回答を要するもの

市道拡幅の要望(2路線)

●対応

9月9日に自治会長宛に文書で回答。

出席者 庶務課行政管理係 丸山 進
常盤公民館長 勝野 富男
記録者 常盤公民館主事 浅野 幸一

- 1 開会あいさつ
- 2 区長あいさつ
- 3 市長あいさつ

○市民参加と協働によるまちづくりの推進について

○第4次総合計画ダイジェスト版の説明

4 懇談開始 【19時20分】

出席者 住民アンケートの実施について

情報収集を目的に、全戸は無理かと思うが、無作為でのアンケートの実施をお願いしたい。

今年の例では、やまびこ祭りと王子のお祭りが同じ週に開催された。また、自治会の参加者も少なく、果たしてやまびこ祭りは必要なのかと疑問に思う。やまびこ祭りにしても、運動会にしても参加しているのは役員と関係者だけのよう感じがする。やまびこまつりに関しては、企業が主になっているような感じがえうけ、市民の意見をもっと反映して欲しいと思う。

また、このような会合があっても意見を言えない人、言っても仕方ないと思う人もいるのではないか。市は市民が何を望んでいるのか常に意見を収集して欲しい。

常盤地区では、今年の防災訓練の次の日に運動会が行われ、役員はとても大変であった。このような予定では参加しようと思わない。もっと市民が気持ちよく、無理なく参加したいと思うような計画にして欲しい。

市長回答

地区や市の行事が多すぎる点について他の地区でも意見が出ている。特に合併してからは、八坂・美麻地区については高齢化率が高く、若者が少ないので地区の行事はほぼ同じ人が支えているようだと聞いている。

市が主催する行事・地区が行う行事を整理しながら、形骸化した行事については見直しをしていこうとしている。特に市が主催する行事については、市政の節目にもなるので思い切った見直しをしようと思っている。地区の皆さんが必要なもの、また新たに必要とするものを地域でよく話し合ってもらいたい。またその行事が重荷になってしまえば良い結果は出ない。

やまびこ祭りを例にとると、参加する時は渋々だったが、参加してみたら楽しかったという意見もある。必要であれば少くくは苦勞をしても続けていった

方が良いという事もあるかと思う。

防災訓練については、毎年各地区を回りながら行っている。今年はたまたま防災訓練・運動会と続いてしまった。

市民の皆さんの意見を聞く為にアンケートをとるようなことも必要だと思う。具体的な政策課題が出た場合はアンケートをとり易いが、個々の案件については自治会を通じて、または、市長への手紙を利用してご意見をいただきたい。市長への手紙は私が読んで、必要な案件は担当課に連絡して2週間以内にお返事をするようにしている。市政に欠けている点、改善すべき点についてご意見をお寄せいただきたい。

出席者 外来魚の駆除について

現在、木崎湖・中綱湖・青木湖では水草も少なく、稚魚が育たない状態だと思う。芦ノ湖ではバスフィッシングとの共生の例があるので勉強、研究してみたらどうか。

市長回答

外来魚は生態系を乱すと言われているが、一方では観光との関連があり、仁科三湖、特に木崎、中綱湖ではバスフィッシングなど、夏には大勢の釣り客で賑わっている。

木崎湖では、漁業協同組合で外来魚の駆除をしたらどうかとの意見があったが、貸しボート業者はバス釣りでの収益が多いとの意見もあり、漁協との話し合いの結果、外来魚を認める方向となった。しかし、下流は農具川、上流は中綱湖があり、外来魚が出入り出来ないような設備を秋までに整える条件なので、現在漁協と関係者で調整を進めている。

風景になじんだ岸を守り、葦やよしの復活など、観光と自然が共存できるように努めていく。

出席者 備品等の購入について

公用車などのタイヤについて、専門業者の話を良く聞いてから予算化してはどうか。消防自動車の夏用タイヤは無駄ではないだろうか。もっと業者に相談すればコストの削減に繋がると思う。

市長回答

専門業者にご意見を聞く事も大切だと思うので、持ち帰り、担当課に提案する。(夏用タイヤは購入の対象から除外してあると確認済み。)

出席者 松原道の改良について

松原地区は商業地域であり、宅地も増え、道路の拡幅を市に陳情するため、15年前に地権者に同意書をとって、3年後に4分の1程開通して、2年後に踏切南まで拡幅工事着工の杭が打たれたが、昭和電工の導水路があるために工事が大規模になるという事で話が立ち切れになっている。上一地区内では優先着工すると言われていたが、市長が代わってから忘れられている。15年も経っているのに開通しないのは税金を均等に配分していないのではないか。

また、現在私有地を待避所化している所が多く、通行する車は我が者顔で会釈なしで通行するなど、問題にもなっている。

冬は除雪の雪が道路脇にあり更に狭くなる為、通学路としても大変危険である。このように狭い道では緊急車両も通行できない。早急に道路拡幅をお願いしたい。

市長回答

市への陳情は市内各自治会から毎年あり、各自治会とも1・2件改良出来れば良い状態である。

10年ほど前までは、国から各市町村の道路改良に対する助成が手厚くあったが、今では財政措置がなくなった。

現在、私有地を待避所にしていただいている場所を地権者のご理解を得て借上げたり、購入をしたりしていくこと、また全面的に整備することが目標と思っはいるが、昭和電工の導水路がネックになっている。その箇所以外を早急に着工出来ないかと現在検討中である。いつ着工できるかはすぐには言えないが、杭打ちをしたままになっている状態については、持ち帰って原課と整理をさせていただきたい。

出席者 道路舗装について

上下水道工事などで、舗装しては、また掘って工事をする事の無いように、税金の無駄遣いをしないで計画的に工事をして欲しい。

上一はほ場整備がされていないため道が狭く、災害の時など救急車両が通行できないような道路や、未舗装の道路を舗装して欲しい。

市長回答

上一地区はほ場整備の前進の土地改良時代の時のままで道路が狭く、集落の中も狭い道になっている。一方、上一地区は市内でも人口急増地区であり、その点を頭にいれて一步でも前進できるように努力する。

公共工事の二度手間を指摘されないように各事業間で調整して工事を進めるように心掛ける。

出席者

上ーは基盤整備をしていないので宅地化が進んでいるが、道路整備・舗装が一番遅れているので優先して行って欲しい。

出席者

道路の舗装は人家のある所を優先して工事をして欲しい。

上ー下一線は下水道工事が済んでいるのにまだ舗装されていない。最近交通量が増えたので舗装をしてほしい。また、市道なのに除雪が行われていない。

市長回答

市道については舗装がされていると思うが、一部そういった箇所があるかもしれない。緊急性の高い所から手をつけていく。下水道工事も絡んでくるので、建設課と検討して回答する。

出席者 都市計画道路について

上ーは線路があって、東西の大きな道路がない。都市計画道路については常盤地区には線路があるために工事費が高額になり難しいかと思うが将来的に考えて欲しい。

市長回答

常盤地区の都市計画道路については将来に向かって知恵をしぼっていききたい。

出席者

温泉郷の空いている施設を老人介護施設などにはできないものか。それによって温泉郷も栄え、また雇用の場にも繋がると思う。

現状のままでは、中心市街地はなかなか活性化しないと思う。今の若者は一か所でまとめて用を足したいと思うので、具体的には豊科のスワンガーデンのようにまとまって買い物が済むような施設が好まれる。たとえば駅前周辺に集約するような案はいかがか。

市の広報について、月2回は多いと思う。月1回にして事務量を減らしたらどうか。

市長回答

市で施設を運営するよりは、民間のノウハウで運営して貰う方が上手くいくと思う。その例は民家を改良した身近なサービスが受けられる宅老所であるが、今後も援助していききたいと思う。

温泉施設を利用したのデイサービスは民間で経営していただける方が見つければ応援していききたいと思う。

中心商店街の空き店舗への助成などを考えて、市の核となる機能は大切にしたい。個性ある商店街づくりを考えている。

広報については、月1回の発行にすると行事等の情報が古くなってしまうので、今までどおり月2回を続けて行きたい。また読みやすい紙面づくりに心がけたい。

出席者 大町病院について

人間ドックの1泊ドックの宿泊場所がロイヤルホテルだと聞いているが、院内に宿泊できるのだから院内にするべきではないか。

また、紹介状が無いと看てもらえないということだが、その様な方法しかとれないのか。

市長回答

大町病院については決算報告を受けたが、苦しいながらも健全経営をしている。昨年秋からの内科医不足のため経営に苦慮している。一般会計から6億円を病院会計へ拠出しているが、現在は2億円の赤字を抱えている状況である。

内科医の不足が続いている為、現在も診療制限をさせてもらっているが、ご理解をお願いしたい。まずはかかりつけのお医者さん、ホームドクターを利用していただくようご協力をお願いしたい。

一泊ドックについては、病院に宿泊すると病気になったみたいな気分になる等の意見があり、職員の提案によりホテルに宿泊する方法をとっている。この方式だとホテルとも一年間契約によって、お互いにメリットがある。

出席者 工場誘致について

東洋紡跡地の工場誘致についてどのような方法をとって進めているのか、また誘致に向けて高速道路が無いことでの不利は無いのか。

ホクト産業とはどのようにして契約することが出来たのか、今後の参考に聞かせていただきたい。

市長回答

ここ一年の間、企業からの問い合わせがだいぶ来ている。パンフレットを作成し企業向けにPRし、また、八十二銀行の取引先の会社などを対象に、私自身が会社を訪問し、直接説明している。大町を大切にしてもらえる企業を探している。

高速道路から離れている点については必ず聞かれるが、大町市の良い点をアピールしている。税金の減免措置などの優遇措置についても説明している。東洋紡の井戸からは地下水が一日1万トン使えることもメリットの一つだと思う。

ホクト産業との契約は、ヘンリーミラー美術館の引受手捜しがきっかけで工場誘致となった。現在もアンテナを高くしてこのような情報を探している。

